

よからべく急し如く行を道き遠てふ負を荷き重は生一の人

100

を遣ふとか又人を何處までも遣はうと云ふ程の堅き精神と云ふものは、必ず其に其身性は腐つても、其靈魂は此世に存在すると云ふ事は、事實のやうでございます又人間は萬物の靈長だから、其位の心があつて然るべきものでございませう、去れば堀田家に於ては宗五郎殿が、愈々この御政治に就いては身体を擲つたからは、之に顧る所があつて、鶴仁政を御執り下されば、宗五郎の靈魂が、怨を喰へ、夢を現すと云ふ事はございませぬが、僅か宗五郎の死後三年を経たす内に、早や以前の如く御取立が嚴しくなつたから、宗五郎殿はじめ三人の者は、茲に其姿を現すと云ふ事によりましめたのは、中藏宗顯郎が、叔父の宗左衛門が更ながら殘念に至り、早左様でござる。叔父宗左衛門にて、御城代様の御相談に與つたと云ふので、御處刑になりました河

宗誠に宗五と云ふ奴は、憎い奴でござる。河

誠は何も身の程を知らぬ奴ぞ今の宗

御主君も六萬石を削られ、此御名家に瑕瑾つけたるも原因とは云へば個分の百姓のため、誠に無念の事でござる。河

誠に其通り、長慮することの出づる宗

イヤ何んぞ要らざる事をして、江戸表に出て將軍家御直訴をするなどとは、世にも珍らしいことぞ。河

去れば彼の一族が、因

よ存分の御處刑になつたるも、快い心地であつたのは、今後の惡事の地

A high-contrast, black and white illustration. In the foreground, a person is seen from behind, wearing a dark, heavily textured garment with a white rectangular label on the back. They are walking towards the viewer. Behind them, two figures in light-colored robes are visible; the one on the left holds a long staff or pole. The style is reminiscent of a woodblock print or a high-contrast photograph.

宗五郎の訴のため御處刑になりましたに依  
つて、深く宗五郎を怨んで宗五郎夫婦御處  
刑の時には、其子供に迄つらゝ當りまして  
叔父の警敵だなど心得達をして居りまし  
た、又堀田玄蕃は御處刑にはなりまし  
た、河内守は、今日城代を勝つて、相模  
守に悪事を働かす存、其親にして其子あり  
親痛の文太が御處刑になつたから、改心で  
して仁政を執り、領分百姓に安堵させ  
云ふ心持は更にない、依然親爺同様に意  
にして、我が懐中を肥し、諸人の苦しむ  
ことを、毫も気にしない云ふ、誠に以て強  
惡非道の城代、その城代河内守の屋敷へ喚  
ばれましたが中島宗四郎、頃は七月の十  
三日の事でございませう、御馳走にな  
しまして、段々の話から河内守が、河  
内はんは七月三日であるな、宗五郎で  
河内思ひ廻せば萬曆三年、萩の臺に



<h1>鮮紳士錄</h1>					
可認圖 特約金價參圓 總一クロ一金文字人					
申込締切期日 送本期日		發行所 京城西小門通		登載事項 政治、軍人、官公吏、經濟、警察、實業、 工業、商業、農業、醫術、無識士、教育、 宗教家、美術家、新聞記者、銀行會、 社學費、慈善、寺院、協同組合、俱樂部合	
八月十五日 九月十五日		新報社		英米佛獨其他紳士の全体を網羅致候へば公私實務者の座右に缺くべからざる要書に有之候	
豫約募集		本町二丁目 本町二丁目 新王城前 北署安洞 中署廣橋東邊 中署龍朝橋越邊 南大門通		日本紳士録(交詢社式)には韓國各地在任の日韓清	
電話二四八番		京城新報社		義生中央盛書館林堂房	

本紳士録(交詢社式)には韓國各地在任の日韓清英米佛獨其他紳士の全体を網羅致候へば公私實務者の座右に缺くべからざる要書に有之候

朝

京

城

事

理

道

管

理

京

城

本

書

に

は

統

治

府

軍

司

令

部

師

團

司

令

部

各

理

事

廳

鐵

道

管

理

局

通

信

管

理

局

各

民

團

各

商

業

台

議

所

韓

國

政

府

軍

司

令

部

師

團

司

令

部

各

理

事

廳

鐵

道

管

理

局

通

信

管

理

局

各

民

團

各

商

業

台

議

所

韓

國

政

府

軍

司

令

部

各

理

事

廳

鐵

道

管


理

局

通

信

管



龍

最上醬油

齒科專門醫院

野田應治  
(電話一〇四七番)

前統監樞密院議長公  
爵伊藤博文閣下新任  
統監子爵曾禰荒助閣

店舖至急讓受けたし  
營業の大小及場所を問はず成べく秘密を要す直接御申込みあれ

京城長谷川町一丁目  
坂本兵太郎事務所  
(電話千百十四番)

公園に於て大園遊會開催  
候御登城の諸彦は来る十日先に會費金  
御申込相成度候

至て服裝は羽織袴又はフロックコートの  
こと

入院隨意  
京城番町三丁目  
高井醫院

送迎大園遊會  
事務所

梅毒淋病  
小兒外科

高井醫院  
電話二二六

明治四十二年七月二日  
院長 陸軍軍醫正 高井貞治

▲夏季飲料  
 ブランデー・ブドウ酒・ウイスキー・シガレット  
 キリンビール・金線印サイダー・シガレット  
 御小賣

洋行  
金銀器美術  
直轄入商

支店 電話三六六番







▲安奉線と當局 吉長線間  
●露國の通牒 露政府は...

●相談の相談  
(何でも相談に應じます)  
●問 答

●中學生の答  
●披露劇を観る

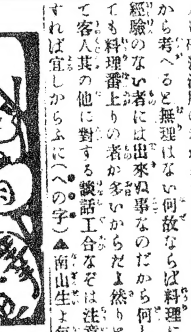
●眼病薬の大王は永樂町三丁目九一藥房發賣の富川氏製劑の眞珠白龍丹に限る七十二種の眼病全愈せざる者なし試用の分に限り定價の半額に割引仕候



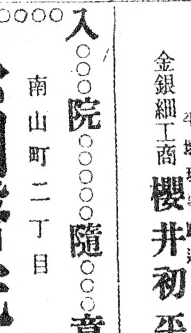
●夫人の訃報  
●中檢査成之の終了  
●北東の風雲少雨  
●配達出拂



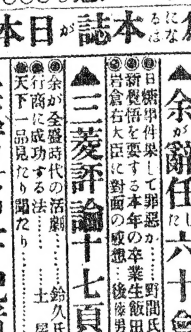
●昨日の降雨  
●松岡醫院  
●福翁訓話



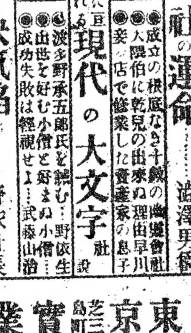
●入札拂下  
●農商工部會計課  
●京城青物市場開業



●廣 告  
●京城青物市場開業



●廣 告  
●京城青物市場開業



●廣 告  
●京城青物市場開業



高連大沽牛莊行 月 日正午時開  
 大連大沽牛莊行 七月二十日午前五時出  
 山奉 九月 七月  
 大連大沽牛莊行  
 酒田 九月 七月二十二日正午  
 釜山出帆 元山、清津、誦連行  
 立神丸 七月七日午後  
 注即乘船之際已開駛往瑞。本船迄  
 迎送船約五十分前二解纜。事  
 意船出帆約五十分前二解纜。事

●新聞刊  
 一號發售 二號六月廿九日發售 三號七月二日  
 拾壹號 拾貳號 拾參號 拾肆號 拾伍號 拾陸號 拾柒號 拾捌號 拾玖號 廿號  
 ●廣告刊  
 五號發售 十九號 廿九號 行 兩五十六號 拾陸號 拾柒號 拾捌號 拾玖號 廿號  
 發行所 東京 本町 久馬 三郎